

# 攻めの保存治療 -MTAとCRの活用-

日時 3月26日(日)14時～17時

会員・無料

会場 兵庫県保険医協会会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル5階)

講師 神戸市中央区・高田歯科院長 高田 光彦 先生

定員 120人 (事前申込順)

昨今、MI治療が声高に訴えられる時代になりつつあることを多くの歯科医師が実感しているであろう。当院でも開院当時は多数歯補綴やインプラント治療がメインであったが、現在では補綴もインプラント治療もそのケース数は格段に減少している。

その要因として、2008年に導入したマイクロスコープによる拡大診療と2007年以降日本国内で導入が始まったMTAや、その後発商品であるバイオセラミクスと呼ばれるカルシウムシリケート材料の臨床導入が大いに関連している。その結果、最近では補綴治療よりも保存治療が、その中でもバイタルパルプセラピーと呼ばれる歯髄温存治療が医院の診療の柱となっている。またそれに伴い補綴治療よりも部分修復治療が占める割合が上昇してきたこともありCRの活用頻度も増えている。

今回の講演の中では、当院におけるバイタルパルプセラピーの実際と、審美的コンポジットレジン修復の手技等について、様々な動画とともに紹介させていただく。【高田記】



## 参加申込書

3月26日 歯科定例研究会に参加します。

(返信 FAX:078-393-1820 TEL078-393-1809)

地区 ( ) 市区町 ( ) 医院名 ( )

電話 ( ) FAX ( )

参加者氏名 ( )